

樽前山

1 概況(平成15年1月)

今期間、顕著な地震増加などはありませんでした。1996年以降地震活動が活発化しており、A火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっています。

2 噴煙活動の状況

A火口、B噴気孔群およびE火口の噴煙の高さは概ね100m以下で推移しました。いずれも勢いは弱く平常レベルですが、噴煙の状況から見て高温の状態は継続しているものと推定されます。

3 地震活動の状況

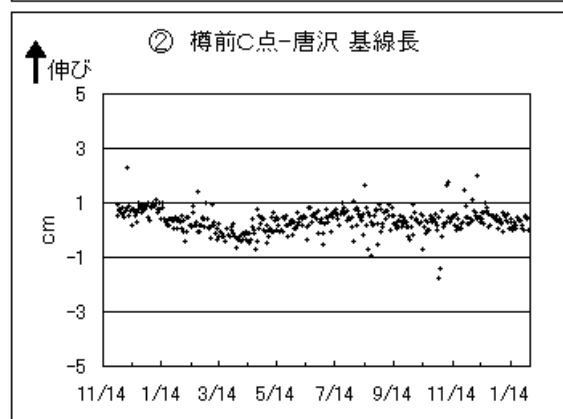
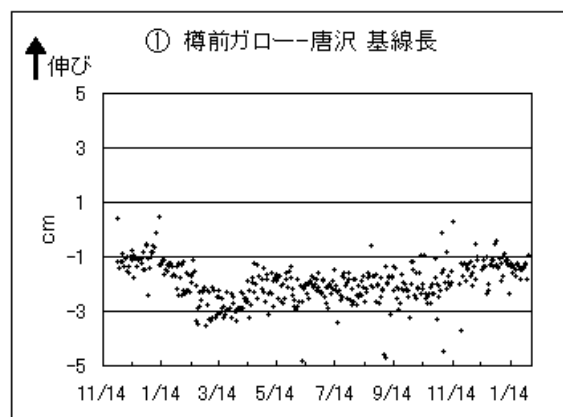
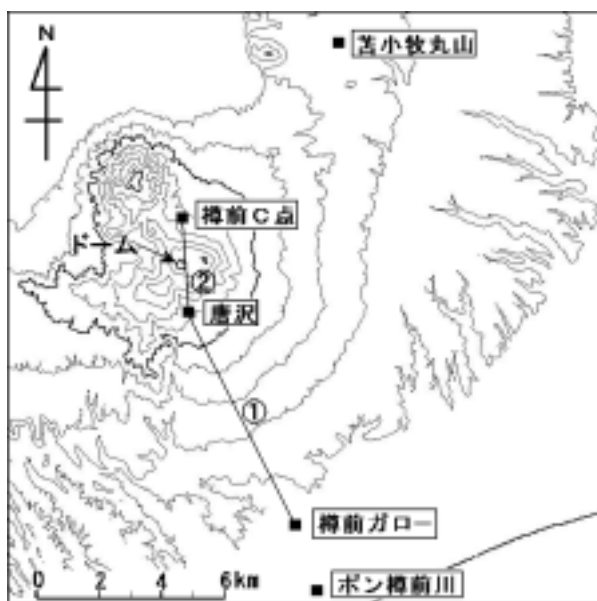
地震回数は1日あたり0~8回で推移し、顕著な地震の増加はありませんでした。震源はほとんどが従来と変わらず山頂火口原の浅いところと推定されます。火山性微動は観測されていません。

月別地震・微動回数(C点)

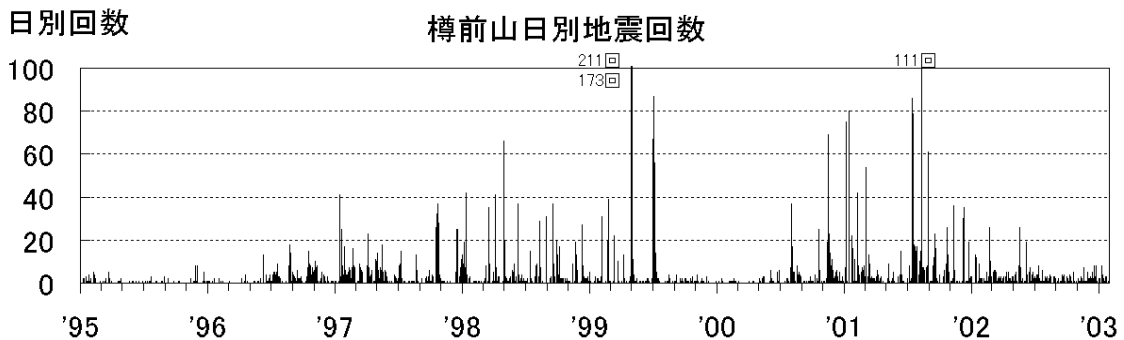
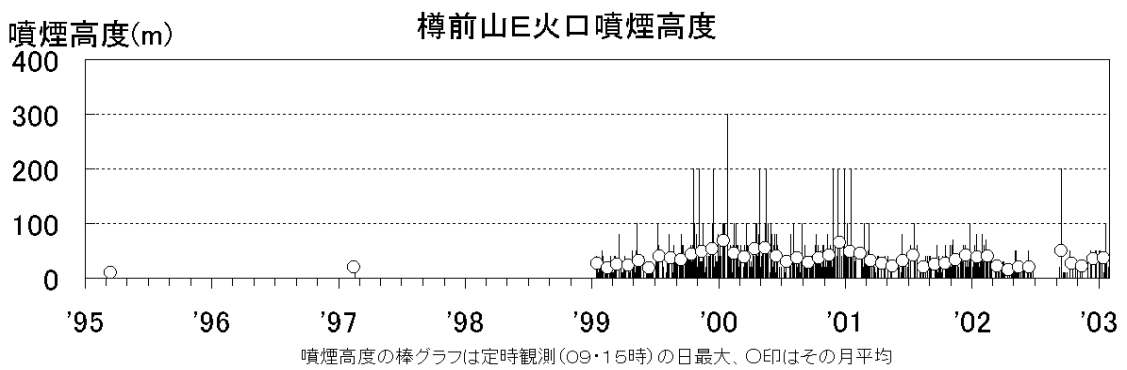
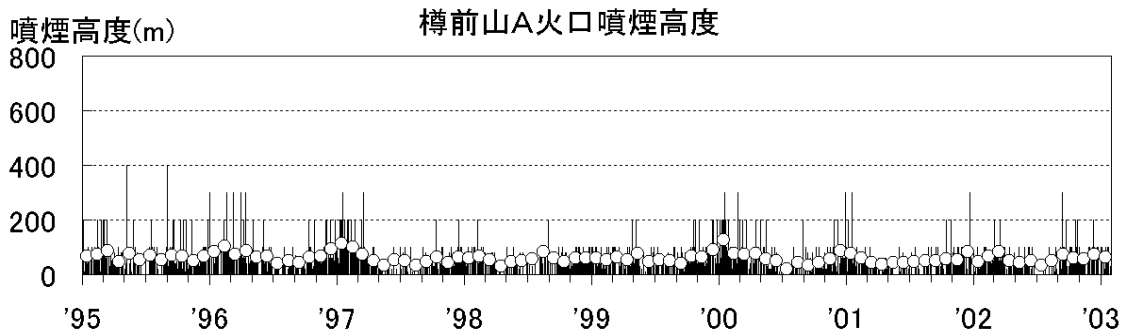
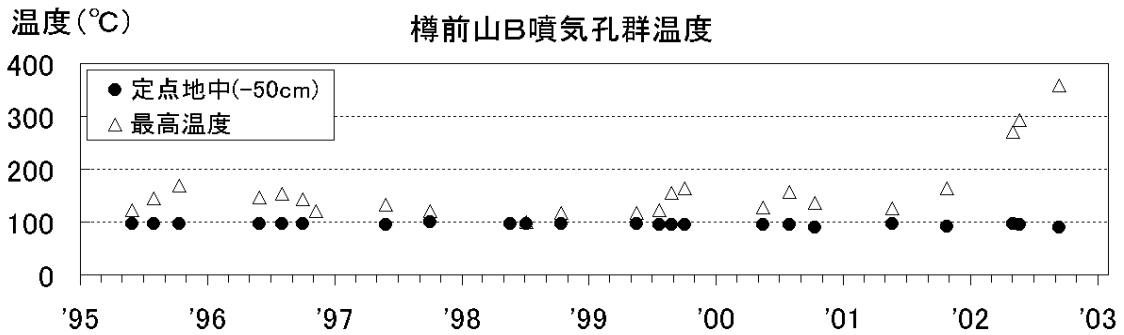
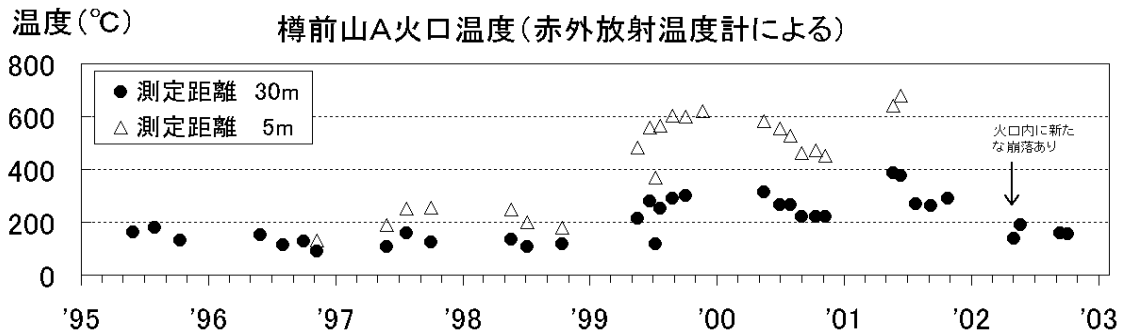
2002~2003年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
地震回数	65	61	41	99	74	50	40	25	36	32	64	35
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

GPS観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると考えられる変化はありません。なお、今月から基線長グラフの縦軸の目盛を拡大して表示しています。



樽前山基線長変化(2001年11月14日
 ~2003年1月31日)



樽前山火山活動経過図(1995年1月1日~2003年1月31日)